



### 校友の皆様

あけましておめでとうございます。皆様、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。旧年中は、一方ならぬご協力をいただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。

わが母校・明治大学は、今年、創立 130 周年を迎えます。そして、今や世界に開かれた大学として、志願者数日本一となりました。まことに嬉しく、誇りに思います。スポーツ面では、野球・ラグビー・サッカー・駅伝・馬術等それぞれのクラブが活躍し、マンドリンクラブ・明大交響楽団をはじめ各文化クラブも活躍しております。各キャンパスの施設も充実し、スポーツパーク構想など明日に向かって着々と計画が進んでおります。特に、われわれ日野地域支部にとりましては、多摩テック跡地の開発を身近に感じております。

創立 130 周年を機に、地域支部としての絆を深め、応援体制を充実していきたいと思っております。そのためには、より多くの会員のご協力がが必要です。「明治はひとつ！」を心の錦に、より多くの会員が集える地域支部にしたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いたします。



多摩川・初日の出

平成 23 年初春

明治大学校友会 日野地域支部長 鈴木絃一

### ◀母校・明治大学の動向▶

近年、躍進著しい明治大学ですが、今後も社会的ニーズに対応した大学改革を積極的に推進すること。まず、2011 年度、新たに「大学院・先端数理科学研究科」を開設。さらに、2013 年度には 4 つ目の教育・研究拠点となる「中野キャンパス」の完成にあわせ、国際日本学部の移転および「総合数理学部(仮称)」の新設などが予定されております。また、私達の住む日野市の多摩テック跡地に、「明治大学スポーツパーク(仮称)」が、2014 年度開設を目指して現在計画が着々と進行しております。21 世紀、教育・研究力とスポーツの強化にまい進する明治大学の動向から目が離せません。

### ◀京王百草園・観梅会のお知らせ▶

2 月 27 日(日)に京王百草園にて、日野地域支部主催のイベント観梅会を開催致します。当日は午前 11 時に京王百草園の入口に集合し、園内で昼食・観梅を楽しみ、その後、近くにある洋画家の故小島善太郎画伯のアトリエ「百草画荘」も見学する予定です。

京王百草園の歴史は、江戸期の享保年間(1716 年～)に再建された松連寺の庭園として整備されたことに始まります。明治維新の際の廃仏毀釈により、同寺は廃寺になりましたが、幸いにも明治期に生糸商人の所有するところとなり、庭園は存続することが出来ました。そして、1957 年(昭和 32 年)から京王電鉄に移管され、今日に至っております。

自然豊かな多摩丘陵の一角にあり、多摩川や浅川の清流、武蔵野台地を見渡せる眺望の良さから、江戸の昔から多くの文人墨客に愛されて来た名園で、とりわけ梅の名所として知られております。園内の約 800 本の梅が開花する 2 月から 3 月にかけては、毎年梅まつりが開催され、多くの花見客で賑わいます。

参加をご希望される方は、2 月 24 日までに下記までご連絡下さい。

イベント幹事: [event@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp](mailto:event@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp)

日野市石田出身の新選組副長土方歳三は梅の花が大好きだったようで、梅の句を多く残しております。歳三が百草園を訪れたという記録はありませんが、生家から程近い距離ですので、きっと訪ねたことがある筈です。それにしても、鬼の副長に風流人の一面があったのは面白いですね。

咲きぶりに寒けは見えぬ梅の花 豊玉(歳三の俳号)



写真:京王百草園HPより転載



## <未来サポーター募金>

支えるキズナ。支えるミライ。過去と現在を結ぶ絆と、大学と学生たちの未来への可能性を大切にしたいと考え、私たちは”明治大学未来サポーター募金”をはじめます。これまでも、多くの皆さまからご支援をいただけてきましたが、今回はじまるのは、寄付金の使い道を自分で選ぶことができる新しい募金制度。明治を応援するあなたの気持ちをダイレクトに反映できます。いつまでも明治大学との交流を。いつまでも明治大学への声援を。そのつながりで、いっしょに未来へ向かうことを、ちょっと楽しみにしていきます。本募金制度では、寄付金の使い道を5つの使途から自由に選択可能。これにより、“未来サポーター”の皆様のご意向に沿った形で寄付金が活かされます。

・奨学サポート資金 ・国際化サポート資金 ・研究サポート資金 ・スポーツサポート資金 ・キャンパス整備サポート資金

明治大学HPより転載

## <箱根駅伝は総合第5位の大健闘！ラグビーは無念の準決勝敗退>

新春恒例の東京箱根間往復大学駅伝競走が、真冬の青空と淡い日差しの下、今年も全国民注視の中で行われました。明治大学は第1回大会にも参加し、過去に7回の優勝を誇る伝統校ですが、1949年(昭和24年)大会を最後に長らく優勝から遠ざかっております。しかし、大学側の強い後押しもあり、近年はめきめきと力を付けて来ており、古豪復活の息吹を感じさせるものがあります。前回大会の往路での快走を支えた選手の多くが卒業した今年は、戦力ダウンが心配されましたが、終わってみれば総合第5位の大健闘。多くの校友に勇気と感動をもたらしてくれました。ところで、今春競走部に入部予定の新1年生は、粒ぞろいのアスリート達だそうで、彼らの活躍が期待出来る来年こそは、明治も優勝争いに加われるものと思われまます。紫紺の襷が一陣の疾風となって先頭でゴール駆け抜け、丸の内のビル街に、校歌「白雲なびく駿河台」の大合唱が轟き渡るのを今から大いに期待したいものです。

一方、ラグビーですが、12月の伝統の明早戦は、フォワード戦で早稲田を圧倒することが出来ず、15-31で敗北。その結果、明治は対抗戦3位に終わりました。そして迎えた大学選手権、1、2回戦はそれぞれ中央と流通経済に圧勝し、準決勝でライバル早稲田と再度対戦することになりました。暮れの敗戦の反省から、準決勝ではフォワードとバックスが一体となった展開ラグビーを目指しましたが、結果としてみればバックスの決定力に優る早稲田の術中にはまってしまったようで、10-74の大敗に終わりました。今年の明治ラグビーを総括すれば、「復活」とまでは言えませんが、「復活への手ごたえ」は十分に感じ取ることが出来た1年だったと思います。来年こそ、「前へ！」のスピリッツで、大学選手権制覇を達成して欲しいものです。

## <明治大学校友会 日野地域支部 ご入会案内>

日野地域支部は、明治大学を卒業され、日野市に在住・在勤されている方によって構成されている校友会の組織です。明大卒の皆さんと親睦を深めながら、大学の支援・地域への貢献・会員相互の親睦を目指しております。

「明治はひとつ、紫紺魂130年！」

日野市・多摩テック跡地には、明治大学スポーツパーク(仮称)ができる計画も進んでおります。この機会に、お誘い合わせの上、是非ご入会下さい。入会ご希望の方は、各地区担当幹事までご一報下さい。

入会金無料:年会費 3,000円(新規の方は、新年度からいただきます。)

会費振込先:ゆうちょ銀行 記号 10030 番号 54365871

<他行からの振込 店名 080 店番 008 普通口座 5436587>

名義 明治大学校友会 日野地域支部 代表 鈴木統一

<今後の予定> 詳細は別途ご案内致します。

- ・日野地域支部・観梅会 2月27日(日)
- ・日野地域支部・総会 5月22日(日)
- ・多摩支部(多摩地区)総会 7月23日(土)
- ・全国校友東京大会(130周年記念)11月3日(木)